

令和5（2023）年度入試から

全日利課程

公立高校の入試制度が変わります！

愛知県の公立高校では、令和5（2023）年4月に入学する人が受検する入試から、新しい入試制度になります。

一般選抜で2校に出願できるのはこれまでどおりですが、推薦選抜の時期が早くなったり、本県では初めてとなる特色選抜が導入されたりするなど、現在の制度から大きく変わるところもあります。このリーフレットで新しい入試制度を理解し、これからの進路を考える上で役立ててください。



変更のポイント

1

学力検査

一般選抜の学力検査の回数が
2回から1回になります。

※ 2校に出願できることは、これまでどおりです。



2

推薦選抜

推薦選抜はこれまでよりも
早い時期に実施します。

※ 一般選抜と切り離し、早い時期に実施します。

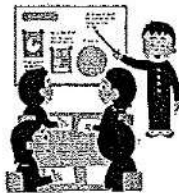


3

特色選抜

高校や学科の特色を生かした
「特色選抜」を導入します。

※ 具体的な実施校・学科や実施時期などについては、決定したい公表します。

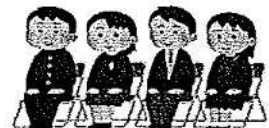


4

面接

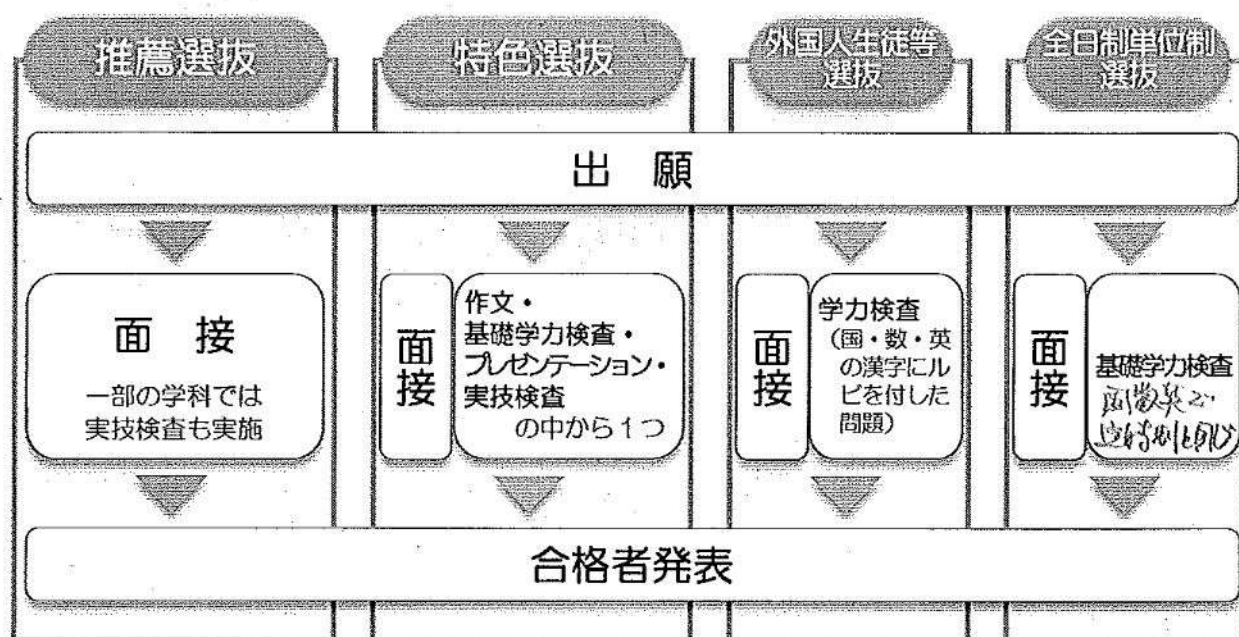
一般選抜で面接を実施するかどうかは、高校ごとに決定します。

※ 高校ごとの面接の有無は、事前に公表します。



愛知県教育委員会
名古屋市教育委員会

新しい入試制度での入学者選抜の流れ



一般選抜・海外帰国生徒選抜



特色選抜

受検生の学ぶ意欲や進路目標を重視した新しい選抜制度で、特色ある教育内容を有する高等学校において実施します。

実施する高等学校・学科および対象者

以下の高等学校・学科のうちから、各高等学校が実施するかどうかを決めます。

- 1 農業、工業、商業、水産、家庭、看護及び福祉に関する学科
その高等学校・学科の特色ある教育内容に関する明確な進路目標と強い学習意欲を有する者
- 2 理数、体育、外国語、国際教養に関する学科・総合学科
コースを設置する普通科・特色ある教育課程を有する普通科
自然科学、人文・社会科学、スポーツなどの特定の分野で優れた能力と実績を有する者
- 3 地域に根差し、地域貢献を特色とする高等学校
その高等学校で学習する強い意欲と、地域社会に貢献する意思を有する者

※音楽科、美術科では、特色選抜を実施しません。

実施時期

一般選抜よりも早く、推薦選抜と同日に実施します。

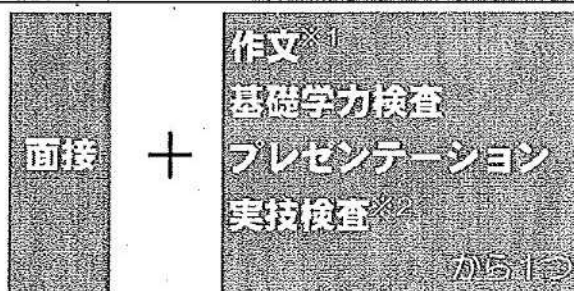
合格発表も推薦選抜と同時で、一般選抜の出願よりも早く行います。

提出書類

入学願書、調査書、志望理由書※など

※ 志望理由書は、受検する高等学校・学科で学びたい意欲などを受検生本人が記述します。

入学検査



※1 作文、基礎学力検査、プレゼンテーション、実技検査のうち、どの検査を実施するかは高校ごとに異なります

※2 実技検査は、体育実技、英語による問答、鉛筆による正確な描写等のいずれかです。

定員枠

各高等学校・学科の募集人員の20%程度までを上限に、各高等学校が具体的な人数の枠を定めます。なお、特色選抜の定員枠は、推薦選抜の定員枠とは別に定めます。

他の選抜との併願・実施校の公表

推薦選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜とは併願できません。

実施する高等学校、求める生徒像、入学検査の内容、定員枠等は、令和4年4月頃に公表します。

一般選抜

実施する高等学校・学科

すべての高等学校・学科で実施します。

群・グループ分け

現行制度と同じ群・グループとします。

出願できる高等学校・学科

Aグループから1校、Bグループから1校選んで、2校まで出願できます。

普通科

尾張、三河の2学区となっていて、居住する学区内の高等学校を受検できます。

尾張学区は、第1群、第2群の二つの群に分かれています。普通科2校へ出願する場合は、同一群内の2校の組み合わせに限ります。なお、第1群、第2群のいずれの高等学校とも組み合わせをすることができる1・2群共通校があります。

三河学区は、三河群として一つの群になっています。

専門学科・総合学科

全県1学区となっていて、居住地にかかわらず受検することができます。

入学検査



※1 学力検査は、現行制度では、Aグループの高等学校、Bグループの高等学校それぞれで実施していました。

新しい制度では、学力検査が1回になります。2校に志願した場合は、1回の学力検査の結果を、第1志望校と第2志望校の両方で用いて合否判定を行います。

※2 面接は、現行制度では、すべての高等学校・学科で実施していました。

新しい制度では、面接を実施するかどうかを、各高等学校が決定することになります。

※3 音楽科・美術科・スポーツ科学科・デザイン科（名古屋市立工芸高等学校のみ）で実施します。

合格者の決定

右表①～⑤の資料により総合的に判断した上で、各高等学校で受検生の校内順位を決定します。その後、愛知県のすべての高等学校の校内順位のデータをコンピュータで処理し、その結果をもとに、各高等学校が合格者を決定します。

校内順位の決定に使う資料

- ①中学校長から提出された調査書等の書類の内容
- ②学力検査得点
- ③面接等の結果（一部の高等学校・学科）
- ④特別検査の結果（デザイン科など一部の学科）
- ⑤自己申告書の記載内容（提出者のみ）

校内順位の決定については、以下に示す評定得点と学力検査得点を使い、各高等学校であらかじめ選択した校内順位の決定方式Ⅰ～Ⅴのいずれかの方式によって得られた数値を基に、総合的に行います。

評定得点と学力検査得点

評定得点

調査書の「学習の記録」の評定合計（最高45）を2倍した得点。
最高を90点（5点×9教科×2）とする。

学力検査得点

国語、数学、社会、理科及び外国語（英語）の各教科の得点の合計。
最高を110点（22点×5教科）とする。

校内順位の決定方式

Ⅰ 評定得点 + 学力検査得点

Ⅱ 評定得点 × 1.5 + 学力検査得点

Ⅲ 評定得点 + 学力検査得点 × 1.5

New!

Ⅳ 評定得点 × 2 + 学力検査得点

Ⅴ 評定得点 + 学力検査得点 × 2

新入試からⅣ、Ⅴの方式が新たに加わります。



推薦選抜

実施する高等学校・学科

すべての高等学校・学科で実施します。

実施時期

一般選抜よりも早く、特色選抜と同日に実施します。

合格者発表も特色選抜と同時で、一般選抜の出願よりも早く行います。

定員枠

普通科

募集人員の10%程度から15%程度
(全日制単位制高等学校は30%程度から45%程度)

専門学科・総合学科

募集人員の30%程度から45%程度



入学検査



※ 新しい制度において、推薦選抜で学力検査を受検しません。

※ 面接における「自己の特性などを1分間程度で答えさせる質問」は行いません。

他の選抜との併願

特色選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜との併願はできません。



その他の選抜

連携型中高一貫選抜

福江高等学校、新城有教館高等学校作手校舎、田口高等学校において、一般選抜よりも早く、推薦選抜と同日に実施します。

各高等学校の連携中学校に在籍する生徒が対象です。

全日制単位制選抜

全日制単位制高等学校において、一般選抜よりも早く、推薦選抜と同日に実施します。

中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の者が対象です。

海外帰国生徒選抜

令和5年度入学者選抜から、実施校を2校(昭和高等学校、岡崎西高等学校)増やし、8校において、一般選抜と同日に実施します。

継続して2年以上海外に保護者とともに在住し、帰国後2年以内の者が対象です。

外国人生徒等選抜

11校において、一般選抜よりも早く、推薦選抜と同日に実施します。

外国籍を有する者等で、小学校第4学年以上の学年に編入学した者などが対象です。